

海外安全対策情報（2024年7月～9月）

1 社会・治安情勢

(1) テロ等の傾向

ア 昨年、パキスタンでは399件のテロが発生し3年連続の増加となった。パキスタンのテロ発生件数は、軍及び治安機関等によるテロリスト掃討作戦により2009年以降減少傾向にあったものの、2021年以降増加傾向にある。2021年に隣国アフガニスタンの首都カブールが陥落して以降、地域情勢は不安定化しパキスタンにも大きな影響が及んでいる。

イ 7月のテロ発生件数は38件であった。テロにより61名が死亡し44名が負傷した。テロで死亡した61名の内訳は治安機関員が27名、民間人が24名、武装勢力が10名であった。

8月のテロ発生件数は59件であった。テロにより84名が死亡し166名が負傷した。死亡者の内訳は治安機関員が25名、民間人が48名、武装勢力が11名であった。

9月のテロ発生件数は45件であった。テロにより54名が死亡し、117名が負傷した。死亡者の内訳は治安機関員が29名、民間人が16名、武装勢力が9名であった。

テロ発生件数は前期（2024年4月～6月期）から45件増加（97件→142件）し、死者は85名増加（114名→199名）、負傷者は202名増加（125名→327名）した。

ウ 今期においては、即席爆破装置（IED）攻撃や銃撃が主要なテロの手段であり、その標的の多くは軍・治安当局とその関連施設であるが、テロ組織の中には中国・パキスタン経済回廊（CPEC）や中国関連施設を標的と公言している勢力もある。

エ 都市部や地方の別に関わらず、治安当局によるテロリストの拘束及び武器・弾薬等の押収が多く確認された。治安当局による精力的な取締りが行われているが、依然としてイスラマバード首都圏を含めた都市部においてもテロの脅威は存在している。

(2) 各種デモ

当地では、主に金曜礼拝後、各種団体による様々なデモが行われる傾向にあり、デモ参加者の行動がエスカレートし一部が暴徒化することもある。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) 銃器使用犯罪

今期においても、前期と同様に銃器を使用した犯罪及び押収事案が相次ぎ、特に主要道路から離れた路地等人通りが少ない場所においては、その危険性が高い。主要都市部においても、銃器を使用した強盗事件（ガンポイント）や侵入強盗事件が頻発している。

治安当局は継続的な銃器の取締りに取り組んではいるものの、違法に所持し摘発されるケースが後を絶たず、違法銃器の蔓延が問題となっている。

(2) 招き入れ型侵入犯罪

イスラマバード首都圏は富裕層が多く居住しており、各家屋には警備員やドライバー等の使用人を雇っている家主が多いが、これら使用人が犯罪者側と共謀し家屋内に招き入れて犯罪に加担する事件が時折発生している。また、家主の不在の間に家屋に侵入し、金品を窃取する事件が発生しているため、在宅の有無にかかわらず施錠を行うほか、使用人、警備員等への指導を徹底する必要がある。

(3) 名誉殺人

当国では地方を中心に、親が認めない相手との交際などで、家族の名誉を汚したとして女性又はその交際相手が殺害される、所謂名誉殺人が後を絶たない。今なお保守的なパキスタン社会では、毎年多くの女性が名誉殺人の犠牲になっており、凄惨な殺害事件も発生している。また、当地では親同士が本人の意思と関係なく決めた相手と結婚させるのが都市部でさえ一般的であり、それに起因するトラブルで結婚相手やその家族・親族等からのDV被害も深刻な問題となっている。

(4) 性犯罪及び虐待

当地では、婦女暴行を含む性犯罪及び虐待事件が頻繁に報道され、その発生件数は非常に多く、性犯罪は増加傾向にあると報じられている。同種事件の被害者は、二次被害のおそれ等から警察に届け出ないことが多く、被害実態は正確に把握できない。被害者の年齢及び性別は多様で特に子どもをターゲットにした極めて悪質な犯行も多く発生しており、誰もが被害者になる可能性がある。また、最近の報道によると、イスラマバード市内居住の外国人駐在員女性が自宅の警備に従事している警備員に寝室に押し入れられ、性的暴行を受けた事件が発生している。当地では、「自分の身は自分で守る」という意識を常に持ち、決して油断することなく、細心の注意を払うことが重要である。

(5) サイバー犯罪

パキスタン連邦捜査局（F I A）サイバー犯罪部門は、SNSを通じた

詐欺投資話、違法な資金取引、児童ポルノのアップロード等、サイバー領域における監視を強化している。F I Aでは、違法な手段で入手した資金がマフィアの活動資金となっているとして、摘発を強化している。

(6) プロの物乞い

イスラマバード首都圏では、マフィアの支配下にある物乞いが問題となっており、イスラマバード警察では摘発に力を入れている。道路上での物乞いを装って、拳銃強盗を働くケースも報告されている。物乞いに窓を開けて対応する等、不注意な行動は犯罪者に隙を与えるため、慎む必要がある。

(7) 宗教上の禁忌に対する反応

2021年12月3日、パンジャブ州シアルコートの工場において、スリランカ人マネージャーをパキスタン人従業員が撲殺し、その遺体に路上で放火する事件が発生した。事件の発端は、宗教的禁忌（預言者ムハンマドに対する冒瀆）に起因しており、激高した多くの従業員が暴徒化した。宗教上の禁忌に十分な注意を払い行動する必要がある。

(8) その他

今期においても連日、不法な銃器・爆発物・薬物・酒類の押収事案が報じられた。これらの事案は、厳重な警戒下にあるイスラマバード市内においても、テロ発生の可能性は依然として排除できないことを示している。

3 誘拐・脅迫事件発生情報

今期、日本人が対象となる誘拐事件は発生しなかった。

当地では、パキスタン人が誘拐される又は誘拐後に殺害されて発見される事件が頻繁に発生している。誘拐・脅迫事件の背景としては、テロ組織による、誘拐事件を利用した政府等への身代金等の要求又は資金稼ぎを目的として犯行に及ぶケースの他、犯罪者が、強姦等の性犯罪や身代金目的で行うケースがある。このような誘拐事件は、解決までに多大な労力・時間を要すると共に、誘拐された被害者が殺害される可能性もあることから、事件に遭わないための安全対策が重要である。

また、女性や子供が性犯罪目的で誘拐される事件が多く報道された。

4 日本企業の安全に関わる諸問題

邦人被害について、2024年4月19日、カラチ市内コーランギー地区ランディー・タウン、セクター20において、日本人複数名が乗車する車列に対して襲撃される事件が発生し、日本人1名が負傷、攻撃に参加したテロリスト2名及び警備員1名が死亡、警備員1名及び通行人1名の計2名が負

傷した。

外国人被害について、2020年12月15日、カラチ市南地区において中国人の車両にリモート爆弾が設置されたが不発だった。この中国人はレストランを所有している。同人がクリフトン地区のショッピングモールから帰宅していたところ、オートバイに乗車した2人の男が中国人車両に接触した後、逃走した。その際に爆発物が磁石で取り付けられた。

2021年4月、クエッタにおいて駐パキスタン中国大使が滞在していたホテルに対するテロが発生した。さらに、同年7月14日には、KP州のダス水力発電プロジェクトに従事するスタッフらを乗せた中国会社のシャトルバスが建設現場に向かう途上で攻撃に遭い、中国人及びパキスタン人十数人が死亡し、数名が負傷した。

同年8月20日、バロチスタン州グワダルにおいてCPEC関連事業に従事する中国人技術者を狙った自爆テロが発生し、中国人及びパキスタン人9名が死亡、複数の負傷者が出た。

2022年4月26日午後、シンド州カラチ市のカラチ大学に隣接する孔子学院前で自爆テロが発生し、中国人教員3名を含む4人が死亡、2人が負傷した。

同年9月28日午後、カラチ市サダル地区にある歯科医院内で殺害事件が発生し、中国人1名が射殺され、2人が負傷した。

2024年3月26日、KP州においてダス水力発電プロジェクトに従事するスタッフらを乗せた車両が建設現場に向かう途上で攻撃に遭い、中国人5名とパキスタン人1名が死亡した。

2024年9月22日、KP州スワート郡で、12か国の外交官を含む代表団が、イスラマバードに戻る途、中車列警護していた警察の車両はIEDによる攻撃を受けた。外交官らは、無傷で、無事イスラマバードに戻ったが、警察官1名が死亡し他5名が負傷した。

また、2022年11月、TTPがパキスタン政府との停戦協定の破棄を宣言以降、テロの脅威がある。同年12月には首都イスラマバードで自爆テロが発生し、複数人が死傷しており、これに関してもTTPが声明を出した。

当地においては、活動地域の最新の治安・安全情報の入手を欠かさず、安全を第一に考えた行動方針を定め、まずは事件に遭遇しないための対策を講じるとともに、万が一の事態を想定した具体的な警備・連絡体制を確立することが重要である。

また、当国政府の政策として、外国人の入域を制限している地域が国内各地に存在し、そのような地域に政府からの事前の許可を得ず（又は事前通報

をせず) 入域した場合には、現地治安当局による安全対策がなされないばかりか、速やかな退去を命ぜられ、また犯罪に巻き込まれた際に通常の警察活動が期待できない場合があるので、当国政府の規定に従い、事前に然るべき手続きを行うことが必要である。なお、手続きを行ったにもかかわらず、政府からの入域許可が得られない場合には、安全上の問題が生じる可能性があるため、当該地域への入域は控えることが望ましい。

5 2023年7月から2024年9月までのテロ発生状況

2023年

4月	32件、死者	77名、負傷者	43名
5月	41件、死者	95名、負傷者	73名
6月	33件、死者	53名、負傷者	38名
7月	29件、死者	127名、負傷者	173名
8月	59件、死者	81名、負傷者	75名
9月	46件、死者	160名、負傷者	193名
10月	27件、死者	30名、負傷者	29名
11月	27件、死者	59名、負傷者	73名
12月	23件、死者	57名、負傷者	54名

2024年

1月	46件、死者	88名、負傷者	106名
2月	63件、死者	70名、負傷者	108名
3月	20件、死者	49名、負傷者	47名
4月	34件、死者	47名、負傷者	32名
5月	36件、死者	35名、負傷者	57名
6月	27件、死者	32名、負傷者	36名

(出典：パキスタン平和研究所「PIPS」)

6 安全を考える上で参考となる事件等 (報道ベース)

7月分

○ 1日、バロチスタン州ケチ (Kech) 郡Turbat TownのKabbin地区で、身元不明の武装集団が民家に発砲し男性1名が負傷したほか、男性を見舞いに来ていた家族が外出した際に家の付近で爆発が発生し、男性の姉妹1名とその子供2名が死亡した。

○ 1日、KP州ハイバル部族郡Tira地区で、情報に基づく作戦 (IBO) が遂行され、司令官を含むテロリスト7名が治安部隊によって殺害されたほか、同州ラッキー・マルワット郡でのIBOで、テロリスト2名が殺害された。

○ 1日、KP州デラ・イスマイル・カーン郡のKulachi警察署管内で、辺境警備隊（FC）隊員1名が、身元不明のオートバイ乗り達からの発砲を受け、殉職した。

○ KP州バジョール部族郡Mamund tehsilのZagai地区で、帰宅中の医療関係者の男性が、武装集団により殺害された。

○ 2日、KP州ペシャワール市リング・ロードのKabotar Chowk付近で、帰宅中の交通警察官1名が身元不明のオートバイ乗り達からの発砲を受け、殉職した。

○ 2日、バロチスタン州カラート（Kalat）郡Iskalku地区へ向かう治安部隊を乗せた車両の近くでIEDが爆発し、治安部隊1名が殉職、4名が負傷した。

○ 3日、KP州バジョール部族郡Mamund tehsilのSesai村で、IEDが爆発し、同州議会補欠選挙に出馬する甥の選挙運動のために車両で移動していたHidayatullah Khan元上院議員を含む5名が死亡した。

○ 3日、KP州バジョール部族郡でIBOにより、主要武装組織司令官のIrfan Ullah（通称Adnan）が死亡した。

○ 3日夜、KP州南ワジリスタン部族郡Makin tehsilのLetta Sar postで、治安要員1名が狙撃され殉職した。

○ 3日、シンド州Kashmore-Kandhkot郡Durrani Mahar地区で、20名以上の武装強盗団（ダコイト）がDhudhar検問所を襲撃し、警察官2名が射殺され、2名が負傷した。警察は、襲撃後に隠れ家に逃げ帰ろうとしていたダコイトの1名を射殺し、3名を負傷させた。

○ 3日、KP州タンク郡Shah Alam村で、身元不明の武装組織がポリオチームに向けて発砲し、警察官1名が負傷したほか、同州デラ・イスマイル・カーン郡Kulachi tehsilで、身元不明の武装組織がポリオチームに向けて発砲し、警察官1名が負傷した。

○ 3日、イスラマバード警察は、同地での大規模なテロ計画を阻止したと発表した。イスラマバード警察はムハッラム月の期間中の治安を考慮してイスラマバードでIBOを毎日遂行しており、Sangjani地区での作戦中に逃走した容疑者から、カラシニコフ銃1丁、手榴弾2個、導火線、起爆装置2個等を回収した。

○ 警察テロ対策局（CTD）は、KP州クラーム部族郡で、ムハッラム月の期間中にテロで使用される予定だった大量の武器と弾薬の隠し場所を発見し、テロ計画を阻止した。

○ 4日、治安部隊は、ギルギット・バルチスタン（GB）Diamer郡Deral溪谷で、昨年9名が殺害された同州チラス（Chilas）のバス襲撃事件に関与したとされる指名手配中のテロリスト3名を逮捕するためIBOを遂行し、テロリスト

司令官1名を殺害、もう1名を負傷させた旨主張した。民間人2名及びGB偵察隊員4名も負傷した。

○ 4日、バロチスタン州シッピー (Sibi) 郡で、長引く停電に抗議する数百名が送電所を襲撃した。

○ 5日、KP州マルダン郡Takhtbai tehsilのJalala橋に仕掛けられたIEDが、警察車両とオート・リキシャが通行中に爆発し、リキシャに乗っていた3名が死亡したほか、警察官2名を含む5名が負傷した。

○ 5日、KP州警察長官 (IGP) は、警察部隊はテロとの戦いの最前線に立っており、今年に入ってからこれまでに、主に州南部で130名以上のテロリストを殺害した旨述べた。

○ 5日、当局は、アーザード・ジャンムー・カシミール (AJK) 州警察は、先般Rawalkotの刑務所からの脱獄囚18名のうち、死刑囚1名を含む3名を逮捕した。

○ 6日、バロチスタン州ボーラーン (Bolan) 郡のMargat炭鉱地域で、警備人員配置のために治安部隊の車両が到着した際にIEDが爆発し、辺境警備隊 (FC) 隊員1名が負傷した。その後、バローチ解放軍 (BLA) が犯行声明を出した。

○ 6日、KP州ペシャワール市郊外のPakha Ghulam地区で、警察官1名が身元不明のテロリストからの発砲を受け、死亡した。

○ 6日、KP州部族郡のWana Kari Kotバザールで、身元不明の者らが発砲し、住民1名が死亡、2名が負傷した。

○ 6日、シンド州Kashmore-Kandhkot郡で、警察官の襲撃や殺害及び市民の誘拐に関与したとされるダコイトのImdad Bhayo (通称Imdu) が、警察とレンジャーによる共同作戦で射殺された。Bhayoのグループは、3日にDurrani Mehar警察署管内で、警察の検問所を襲撃し、警察官2名を殉職させ、多数を負傷させたとされる。

○ 6日夜、KP州デラ・イスマイル・カーン郡Daraban tehsilのZarkani村の民家に迫撃砲弾が着弾し、女兒2名が死亡、女性2名及び子供1名が負傷した。

○ 7日、シンド州カラチ市Karimabadで、CTDのAli Raza警察副本部長 (DSP) 及び民間の警備員1名が、オートバイ乗り2名からの標的攻撃により死亡した。

○ 7日、KP州南ワジリスタン部族郡Birmal tehsilのKalosha-Azam Warsak Roadで、帰宅中のMaulana Abdullah Wazir・JUI-P同部族郡支部長代理の車両の付近でIEDが爆発したが、同支部長代理は無傷であった。

○ 9日、KP州北ワジリスタン部族郡での武装勢力との銃撃戦で、軍将校1名

が殉職したほか、武装勢力戦闘員 2 名が死亡した。

○ 9日、KP州南ワジリスタン部族郡での武装勢力との銃撃戦で、兵士 3 名が殉職、12名が負傷したほか、同州ラッキー・マルワット郡のDadiwala警察署管轄内インダス・ハイウェイのクラム橋付近で、身元不明の襲撃者から車両へ発砲を受け、警察官 1 名とその甥 3 名が死亡、未成年者 1 名が負傷した。

○ 10日、KP州ペシャワール市郊外Hassan Khelでの警察、CTD及び治安部隊が共同で遂行したIBOで、銃撃戦が発生し、治安部隊 2 名、CTD職員 2 名が殉職、他 6 名が負傷した他、TTPの戦闘員 3 名が死亡した。

○ 10日、シンド州CTDは、同州カラチ市オランギ・タウンでムハッラムの行進に対して自爆攻撃を計画していたとされるTTPの主要司令官とされるモハンマド・ショエーブを逮捕し、彼の所持品からカラシニコフ 1 丁、手榴弾 2 個、爆発物及びIED 1 個を回収し、テロ計画を阻止した旨主張した。

○ バロチスタン州クエッタ市Sairab地区で、バローチ団結委員会 (BYC : Baloch Yakjehti Committee) が 1 週間以上に渡りバローチ人の行方不明に抗議して座り込みをしていた中、11日、抗議者が同市のいくつかの道路で行進し、レッドゾーンで座り込みをしようとしたため、BYC支持者と警察との間で衝突が発生し、警察官 6 名を含む12名以上が負傷し、女性 5 名を含む27名が逮捕された。

○ 11日、バロチスタン州ケチ郡トゥルバットで、行政官が、散歩中に身元不明の武装集団からの発砲を受け、負傷した。

○ 11日、KP州ハイバル部族郡Upper Bara地区で、少女が誤って地雷を踏んでしまい死亡、その場にいた少女 3 名が負傷した。

○ 11日、KP州タンク郡Shaheed Mureed Akbar警察署管轄下のKirri Haider村の畑で、警察は、前日に行方不明になっていた治安要員 2 名の遺体を発見した。

○ 11日、KP州ペシャワール市Dilazak Roadと同州ラッキー・マルワット郡Serai Naurang町で、住民が長時間の停電に抗議して送電所を襲撃した。

○ KP州北ワジリスタン部族郡ミランシャーで、身元不明のテロリストがロケット弾 (RPG-7) で車両を攻撃し、新政府武装勢力司令官を含む 3 名が死亡した。

○ 11日夜、KP州バンヌー郡ジャニ・ケール地区で、武装集団からの標的攻撃により、FC隊員 2 名が殉職した。

○ 12日、KP州ハイバル部族郡バラのバラ・カンバルケール地区で、オートバイに乗った武装集団からの発砲を受け、警察官 1 名が殉職した。

○ 11日夜、KP州南ワジリスタン部族郡北部のリッタ地区サラログ警察署内で誘拐された男性が、身元不明の者達により射殺された。また、同郡南部Birmal

Tehsilで、排水溝から銃弾を受けた男性の遺体が発見された。

○ 12日夜、KP州マルダン郡で、武装勢力と見られる者達からの発砲を受け、通行人1名が死亡、警察官1名を含む2名が負傷した。

○ 12日、CTDは、シンド州カラチ市ソフラブ・ゴートのジャンジヤル・ゴート地区で、TTPのハーフィズ・グル・バハードウル・グループと関連している2名（アブ・ザル及びヤクブ・マスード）を逮捕したと発表した。

○ 13日、CTDは、TTPに新たに創設されたカラチ支部に所属する戦闘員ヒダヤトウッラー（通称モーラーナー・アブドウル・ハキーム）を逮捕したと発表した。

○ 13日、バロチスタン州クエッタ市アクタラバード地区で、パトロール中のFC隊員を乗せた車両の近くでIEDが爆発し、兵士1人が殉職、1人が負傷した。

○ 14日、KP州ノーシェラ郡アクバルプラ地区で、車両で移動していたペシャール出身のジャーナリストのハッサン・ゼーブが、身元不明のオートバイ乗り達によって射殺された。

○ 13日、KP州タンク郡パイ地区で、休暇中のFC隊員1名がテロリストによって誘拐された。また、同州デラ・イスマイル・カーン郡のハタラ警察署管轄内ハタラ・カラチ・ロードで、休暇中のFC隊員1名が自宅外で身元不明の者達により銃殺された。

○ 15日、KP州南ワジリスタン部族郡バンゲイ・ワラーのシラログ地区付近で、地雷爆発事件により子供2名が死亡した。

○ 15日朝、KP州バンヌー郡で、テロリストがカントメント（陸軍駐屯地）への侵入を試みたが、治安部隊により阻止された。これにより、兵士8名が殉職、テロリスト10名が死亡した。

○ 15日深夜から16日未明、KP州デラ・イスマイル・カーン郡キリ・シャモザイ地区で、テロリストが農村保健センター（RHC：rural health centre）を襲撃し、女性及び子供を含む5名が死亡したほか、テロリストとの銃撃戦で軍人2名が殉職、テロリスト3名が死亡した。

○ 16日、KP州タンク郡ムラザイ地区で、民間企業の探知犬チームのメンバー5名が、身元不明の者達により誘拐された。情報筋によると、誘拐犯は被害者の家族に1億ルピーの身代金を要求した。

○ KP州南ワジリスタン部族郡南部のビルミルTehsilナルガサイ地区で、身元不明の者達からの発砲を受け、警察官1名が死亡した。

○ 19日、KP州南ワジリスタン部族郡ワナ・アマン・チョーク付近で、アイヌッラー・ワジール平和委員会司令官を乗せた車両を狙って、遠隔操作による爆発が発生し、同司令官はかろうじて逃れたが、民間人2名が死亡、警察官を含

む4名が負傷した。

○ パンジャーブ州オカラ郡ベーロルプール村で、ある男性がコーランを燃やした容疑で逮捕されたことを受け、18日夜に容疑者の引渡しを要求した暴徒が警察署を襲撃し、翌日18名が逮捕、134名がFIR（警察の捜査開始の際に執られる手続）登録された。また、本事件には反テロリズム法（ATA）の条項が追加され、容疑者29名が指名された。

○ 19日、バロチスタン州ケチ郡ブレダ地区で、身元不明の武装勢力が道路脇に爆発物を仕掛け、FC隊員が乗る車両が通過した際に爆発させ、FC隊員1名が殉職、7名が負傷した。また、同日、同州ピシン郡の裁判所前で、身元不明の者達が、CTD車両を狙い遠隔操作でIEDを爆発させ、CTD職員3名及び歩行者3名が負傷した。

○ 19日未明、KP州マルダン郡タフテ・バヒーで、武装勢力が仏教遺跡付近の検問所に対して手榴弾攻撃を行い、警察官1名が殉職、警察官2名が負傷した。

○ 19日、KP州ブネイル郡のピール・ババ警察署管内で、2人の少年が草刈り中に見つけた爆発物を扱った際に死亡した。

○ 19日、シンド州カラチ市ウォーターポンプ・チョーランギ付近で、身元不明の容疑者からの発砲を受け、警察官1名が死亡した。市内で警察官が殉職した事件はここ約1か月半で3件目となる。

○ 20日深夜、KP州ペシャーワル市郊外のウルマール警察署管内で、武装勢力がアラムドゥ検問所を襲撃し、警察官1名が殉職した。

○ 21日、KP州ノーシェラ郡で、高速道路警察の女性警部補（SI：sub-inspector）1名が、身元不明のオートバイ乗り2名からの発砲を受けたが、無傷で逃れた。

○ 20日深夜、KP州タンク郡で、前日に拉致された地元の学校の教師の射殺遺体が発見された。

○ 21日夜、パンジャーブ州ジェーラム郡ディナで、先月12日に麻薬対策部隊（ANF）2名とボランティア1名の殺害に関与した容疑者2名が、警察の拘束から逃れた際に共犯者によって殺害された。

○ 22日未明、KP州ハイバル部族郡ティラ溪谷セライ・カンダウ地区で、道路に仕掛けられた爆発物が爆発し、通りがかった車両に乗っていた警察官3名が負傷した。

○ 22日、KP州ディール郡で、治安部隊が国境を越えてアフガニスタンからパキスタン領内に侵入しようとしたテロリストを発見し、包囲した後に激しい銃撃戦が起こり、テロリスト3名が死亡した。

○ 22日深夜、バロチスタン州ハルナイ郡とジアーラト郡サンジャヴィ間の道

路で、パンジャブ州へ向かう石炭を運搬するトラック 2 台が武装集団から銃撃され、運転手 1 名が死亡、2 名が重傷を負った。

○ 22日、KP州バンヌー郡のプラーナー・クラーム・プル近郊で、身元不明のオートバイ乗り達から手榴弾を投げられ、労働者 3 名が負傷した。

○ 23日夜、KP州ペシャーワル市郊外レギ・モデル・タウン（RMT）で、武装勢力が警察署に向けて発砲し、警察官 1 名が負傷した。

○ 24日、CTDは、シンド州カラチ市モーチコ地区でのIBOで、TTPの戦闘員であるウメル・ファルークを射殺した旨述べた。ウメル・ファルークは、2013年3月のアッバース・タウン爆弾爆発事件の主犯であるほか、2023年2月のカラチ警察署襲撃事件で反テロ法廷（ATC）から逃亡者として認定されていた。

○ 24日、バロチスタン州ケチ郡ホシャーブ地区で、治安部隊がIBOを遂行している際にテロリストとの間で激しい銃撃戦が発生し、BLAの重要な司令官（アリー・ジャン）が死亡したほか、テロリスト 2 名が負傷した。

○ 25日、バロチスタン州ナシラバード郡デラ・ムラド・ジャマリで、身元不明の武装集団から車両に攻撃を受け、兄弟 2 名が死亡、警備員 3 名が負傷した。兄弟 2 名は、数か月前に武装集団によって殺害されたイスハーク・ブグティの弟達であった。

○ 25日、KP州モーマンド部族郡アンバール地区で、パトロール隊が攻撃を受け、警察官 1 名が殉職した。また、同日、同州スワート郡ランダ・カイ地区で、身元不明の武装集団が検問所に発砲し、警察官 2 名及びポリオワクチン接種従事者 1 名が負傷した。

○ 26日、治安部隊は、北ワジリスタン部族郡でIBOを遂行し、武装組織ハーフィズ・グル・バハードゥル・グループのハーフィズ・グル・バハードゥル司令官の側近を殺害した旨主張した。

○ 26日、バロチスタン州パンジュゲール郡バルガタル地区で、身元不明の武装集団からの発砲を受け、車両で移動していた 3 名が死亡、1 名が負傷した。

○ 27日、KP州タンク郡で、治安部隊はIBOを遂行し、テロリスト 4 名を殺害した。

○ 27日、パンジャブ州グジュラート郡ララムサ近郊のアリプール村で、歯科医院を運営するアフマディーヤの薬剤師が、オートバイ乗り 2 名によって射殺された。

○ 27日、反テロ法廷（ATC）は、KP州バンヌー郡の平和ジルガと政府との合意に基づく同郡での掃討作戦中に拘束された武装勢力の容疑者 24 名を、同郡のCTDに25日間拘留した。

○ 27日、バロチスタン州パンジュゲール郡チャティカン地区で、身元不明の武装集団により、2 名が射殺された。

- 27日夜、KP州デラ・イスマイル・カーン郡で、警察は身元不明の者達によるチュドワン警察検問所への攻撃を阻止した。
ISPR（軍統合広報局）によれば、28～29日に治安部隊はKP州で3つの作戦を遂行し、テロリスト5名を殺害した。モーマンド部族郡でのIBOでテロリスト3名が死亡、デラ・イスマイル・カーン郡での作戦でテロリスト1名が死亡、3名が負傷、及び北ワジリスタン部族郡での交戦でテロリスト1名が死亡した。
- 28日、警察と郡当局は、ハンゲー郡及びオラクザイ部族郡から参加したジルガは、4日間に渡る懸命な協議の後、停戦を仲介することに成功した旨主張した。クラーム部族郡の医療従事者によれば、5日間に渡る紛争で、少なくとも35名が死亡、166名が負傷した。
- 28日にシンド州ゴートゥキ郡のアンダル・スンドラニ警察署管内でダコイトが検問所を襲撃し警察官3名が殉職したことに続き、31日夜、同郡ミアニ・グラム・フサイン地区で、出勤中の警察官3名がダコイトに襲撃され、死亡した。
- 29日夜、シンド州ハイデラバード県警察CTDのチームは、ジャムショロ郡のコトリ・サイト地区でシンド革命軍（SRA）戦闘員とみられる3名の容疑者から襲撃を受けた後、うち2名を逮捕した（指名手配中のテロ容疑者1名は逃走）。これにより、8月14日（独立記念日）に計画されていた可能性のあるテロ攻撃を防いだ。
- 30日、KP州タンク郡で、7名程の武装勢力が国連の装甲車両に発砲したが、乗車していた2名は無傷で逃れた。
- バロチスタン州ピシン郡で、身元不明の武装集団が、カリ・マリザイ・ロードにある憲兵隊の検問所に向けて発砲し、憲兵隊員2名が殉職した。
- 31日、KP州ハイバル部族郡ランディ・コタール地区で、武装勢力がチャルワズガイ検問所を発砲し、警察官2名が死亡、民間人1名が死亡したほか、警察官1名及びその他数名が負傷した。
- 31日、KP州北ワジリスタン部族郡ミラリtehsilで、身元不明の者達からの標的攻撃を受け、元法執行機関職員とその兄弟が銃殺された。また、この銃撃により通行人1名も死亡した。
- 31日、パンジャーブ州ラヒーム・ヤール・カーン郡のマチカ警察管内の未開発地域（通称Katcha）で、警察隊がダコイトにより身代金目的で誘拐された男性を救出していたところ、ダコイトとの遭遇戦が発生し、警察官1名が死亡、もう1名が負傷したほか、ダコイト4名が死亡した。警察とダコイトの遭遇戦中の同日夜、同郡サディカバードのボーング・バチャオ・バンド地区の警察検問所がダコイトに襲撃され、警察官3名が死亡した。襲撃後、追跡した警察とダコイトとの交戦で、ダコイト1名が死亡した。

8月分

- 2日、KP州タンク郡バグワール地区で、デラ・イスマイル・カーン郡に向かう地裁判事3名を乗せた車列が、武装勢力からの攻撃を受け、交戦により車列を警護していた警察官2名が殉職したが、判事3名は辛うじて銃撃を逃れ、無事であった。
- 内務省によれば、過去16か月で、パキスタン全土で2,075件のテロが発生し、1,215名が死亡、2,600名が負傷した。2023年のみでも、テロにより930名が死亡、2,000名が負傷し、今年に入ってから4か月間で285人が死亡、600人が負傷した。KP州が最も被害が大きく、テロが1,140件発生し、756名が死亡、1,786名が負傷した。
- 3日朝、KP州マルダン郡チョラ地区で、CTDと治安部隊による合同作戦により、武装勢力容疑者4名が殺害された。うち1名はハムシ (Hamsi) 武装グループ関係者であった。
- 3日、KP州デラ・イスマイル・カーン郡キリ・サキ・マルダン付近のパニヤラ・パハプール・ロードで、巡回中の警察車両がオートバイに乗った4名の襲撃者からの発砲を受け、警察官1名が負傷した。
- 5日、ビルマール tehsil のランディ・ドグ地区で、車に乗った身元不明の武装集団が発砲し、2名が死亡した。
- 6日朝、KP州南ワジリスタン部族郡ビルマール tehsil で、身元不明の武装集団がFC検問所を襲撃し、隊員1名が殉職、1名が負傷した。
- KP州マルダン郡タフテ・バヒーで、地元住民からの通報を受け、警察は道路に仕掛けられたIEDの信管を外し、テロを阻止した。
- 7日朝、KP州ペシャワール市郊外のワルサック・ロードで、警察車両が通りかかった数秒後にIEDが爆発したが、乗車していた警察官は全員無事であった。
- 9日朝、KP州ハイバル部族郡で、治安部隊がアフガニスタンからラジャガール渓谷に侵入しようとした武装勢力を阻止しようとした際に、ティラー渓谷の複数の検問所が一連の攻撃を受け、治安要員少なくとも3名が殉職、12名が負傷したほか、武装勢力戦闘員4名が死亡した。
- 9日、KP州バンヌー郡ミリヤン警察署管内のヌラール地区付近で、警察のパトロール隊が銃撃を受け、民間人1名が死亡したほか、警察署長 (SHO) 含む警察官3名及び民間人2名が負傷した。
- KP州デラ・イスマイル・カーン郡ヤーク地区で、ヤーク SHO 率いる警察パトロール隊が身元不明のテロリストに襲撃されたが、銃撃戦で撃退し、テロ攻撃を阻止した。
- 9日にバロチスタン州ボラン郡の炭鉱町マッチで警察署が手榴弾攻撃を受

けたことに続き、11日夕方、同州クエッタ市のガワルマンディ警察署が、オートバイ乗りによる手榴弾攻撃を受け、警察官2名が負傷した。

○ 10日、バロチスタン州アワラン郡アラワン・タウンのバザール・エリアで、警察車両を標的として駐車中のオートバイに仕掛けられた爆発物が爆発し、歩行者3名が負傷した。警察車両は無事であった。

○ 10日、KP州チャルサダ郡カンマヒ警察署管内のシャク・ナンバー6付近で、通勤中の特別分署の副警部補が、身元不明の武装集団に銃撃され、殉職した。

○ 10日、シンド州ラルカナ郡警察CTDのアスガル・シャー警察副本部長(DSP)は、IBOを遂行し、今月14日にラルカナ中央刑務所と、ラルカナ市宮競技場で開催されるイベントの襲撃を計画していたとされるSRAのテロリスト2名を逮捕したほか、起爆装置や導火線等の爆発物を回収した旨記者会見で発表した。

○ 10日、FCは、KP州南ワジリスタン部族郡北部のティアルザ tehsil で身元不明の武装集団に拉致された隊員2名の遺体をコート・コンル山中で発見した。

○ 10日深夜、シンド州ラルカナ郡ノデロ地区で、CTD及び法執行機関によるIBOが遂行され、TTPのテロリスト容疑者2名が逮捕された。

○ 11日、KP州北ワジリスタン部族郡ラズマク tehsil で、治安部隊と武装勢力の銃撃戦により、治安要員1名が殉職したほか、ミール・アリ tehsil のハイサル・ロードで、治安部隊と武装勢力の銃撃戦により、治安要員4名が負傷した。

○ 11日、KP州ラッキー・マルワット郡セライ・ノーラング・タウンで、身元不明の武装したオートバイ乗り2名からの発砲を受け、帰宅中の警察官1名が負傷した。

○ 11日、KP州南ワジリスタン部族郡南部ビルマール tehsil のアングル・アッダー地区で、警察副署長(Additional SHO)が乗った車両が爆発と銃撃から逃れた。

○ 11日、バロチスタン州ケチ郡トゥルバットのアブサール地区で、FC駐屯地が身元不明の者達からの手榴弾攻撃を受け、隊員2名が負傷した。

○ 11日夜、バロチスタン州クエッタ市のサリアーブ・ロードで、FC駐屯地が武装したオートバイ乗り達からの手榴弾攻撃を受け、隊員3名が負傷した。

○ 11日深夜、バロチスタン州クズダール郡バズギール地区で、FC駐屯地が攻撃されたが、死者は報告されなかった。

○ 12日、バロチスタン州マストゥング郡カドコチャ付近のクエッターカラチ間国道で、ザーキル・フサイン・バローチ・パンジュグール郡副郡長(DC)がパンジュグール市委員会委員長と共にクエッタに向かっていた際に、道路を封鎖し車両を検問していた身元不明の武装集団から逃げようとしたところ、公用車への発砲を受け、同郡DCが死亡、他4名が負傷した。

○ 12日、バロチスタン州クエッタ市サテライト・タウンのチャロ・バブリー

地区で、オートバイに乗った身元不明の武装集団が警察パトロール車両に対して手榴弾を投げつけ、女性1名を含む8名が負傷した。

○ 12日夜、KP州南ワジリスタン部族郡北部ティアラザ tehsil とラダ tehsil の間にあるマミ・ケル検問所が、RPGやその他重火器で武装した武装勢力に襲撃され、FC隊員4名が殉職、27名が負傷した。

○ 13日、KP州バジヨール部族郡バラング tehsil アシル・タルグーのサパレイ地区でIEDが爆発し、部族の長老1名が死亡、もう1名が重傷を負った。

○ 13日、バロチスタン州警察CTDは、治安部隊が先般パンジュグール郡DC襲撃事件に関与したとされる武装勢力2名を射殺した旨発表した。

○ 13日、バロチスタン州クエッタ市のリヤーカト・バザール地区で身元不明のオートバイ乗りが独立記念日の商品を売る店に手榴弾を投げつけ、1名が死亡、6名が負傷した。

○ 13日朝、クエッタ市サリアーブ・ロード地区ムニール・メーンガル・ロードにある女子高校で、身元不明の襲撃者達が校門付近に手榴弾を投げ込み、建物の一部を損壊させたほか、監視員を負傷させた。

○ 13日深夜、クエッタ市のキリ・デバ地域で、身元不明のオートバイ乗り達がアユーブ・スタジアムに向かってグレネードランチャーで手榴弾3発を発射したところ、家屋と駐車場に着弾し、2名が死亡、3名が負傷した。

○ 13日、パンジャーブ州ラホール市郊外の国境沿いの村ハデヤラの近くで、インド国境警備隊(BSF)が、越境したとされる身元不明の男性を射殺した。

○ KP州ローワー・ディール郡マヤールで、武装勢力が検問所に手榴弾を投げつけ、警察官1名が殉職、ほか1名が負傷した。警察官が応戦したところ、襲撃者は逃走した。

○ 13日深夜、KP州ハイバル部族郡ジャムロード tehsil で、検問所と tehsil の事務所が銃と手榴弾による2度の攻撃を受けたが、警察は応戦し撃退した旨発表した。

○ 13日深夜、KP州 tehsil のシャングラの観光地ヤクタンゲイで、検問所が武装勢力による攻撃を受けたが、警察官が撃退した。

○ 14日、KP州南ワジリスタン部族郡ビルマール tehsil で、検問所及び警察署が武装勢力による攻撃を受けたが、治安部隊が銃撃戦の後撃退した。

○ バロチスタン州クエッタ市のクエッタ鉄道駅付近のホテルと橋が2回の手榴弾攻撃を受け、8歳の子供が死亡、6名の子供を含む12名が負傷した。

○ 14日、KP州バンヌー郡ミランシャー・バンヌー・ロードのバックケル地区で、タクティケル検問所が武装勢力による攻撃を受け、兵士と武装勢力との間で激しい銃撃戦が起こったが、犠牲者は報告されていない。また、バンヌー市に向けてどこからかロケットが発射され、ファティマケル墓地に着弾した。

- KP 州スワート郡で、身元不明の襲撃者達がティリグラム検問所に発砲し、警察官が応戦したが、警察官は無事であった。また、同郡マッタ Tehsil のサムバット地区で、武装集団が検問所を襲撃し、警察官が殉職した。
- 15 日、KP 州クラム部族郡で、治安部隊が IBO を遂行し、武装勢力 7 名を殺害し、5 名を負傷させるとともに、武装勢力の拠点を破壊し、大量の武器、弾薬、爆発物を回収した。
- 15 日深夜、同州バジョール部族郡カルで、身元不明の武装勢力によりハッジ・ラワング・プール検問所が襲撃され、警察官が殉職した。
- KP 州デラ・イスマイル・カーン郡で、身元不明の武装集団が、シーア派巡礼者が乗るバスに発砲し、乗客のうち 2 名が負傷した。バスの運転手が銃撃線から逃げようとした際に車のコントロールを失い、歩行者 3 名が軽傷を負った。地元当局とシーア派コミュニティは、TTP が攻撃の背後にいる旨主張した。
- 15 日、KP 州デラ・イスマイル・カーン郡シャヒード・ナワブ・カーン警察署管内のレフマニケル地区で、地元私立高校の校長とその親族 1 名が、身元不明の襲撃者達に発砲され死亡した。
- 16 日、KP 州北ワジリスタン部族郡のラズマク地区で、治安部隊は IBO を遂行し、銃撃戦で武装勢力 3 名が殺害され、1 名が負傷したほか、殺害した武装勢力から武器と弾薬を回収した。
- 16 日、KP 州ペシャーワル市のワルサック・ロードで、警察車両の近くで爆発が起こり、警察官 2 名及び民間人 1 名が負傷した。
- 16 日、KP 州南ワジリスタン部族郡南部ワナ tehsil のダザ・グンダイ地区で、身元不明の者が長老の乗る車両を狙ってオートバイに仕掛けたリモート爆弾が爆発し、子供 2 名を含む 4 名が負傷したが、長老と同僚は爆発を免れた。
- 16 日、バロチスタン州チャガイ郡ダルバディン警察署から約 3 km 離れた男子カレッジ付近で、銃弾を受けた身元不明の 22~27 歳の 5 名の遺体が電柱に吊されているのが発見された。翌 17 日、5 名はアフガニスタンの Lashkar Gah の住人であることが確認された。警察は、5 名はソーシャルメディア上でイランのシスタン・バロチスタン州を拠点とする活動禁止武装組織ジェイシェ・アル・アドルの指導者ムラド・ノテザイの殺害を告白していた者達ではないかと疑っており、ジェイシェ・アル・アドルが報復として 5 名を処刑した可能性があるともみられる。
- 17 日、バロチスタン州クエッタ市サリアーブ・ロードにあるバロチスタン大学付近で、身元不明のオートバイ乗り達が警察車両を狙って手榴弾を投げつけ、歩行者 3 名が負傷したが、警察車両は無事で、警察官は無事であった。
- 17 日、KP 州ハイバル部族郡ジャムロード警察署管内のレギ・ラマで、警察 CTD とジャムロード警察が共同で IBO を遂行し、TTP のワリード・グループに所

属するテロリスト2名を殺害した。また、同州デラ・イスマイル・カーン郡郊外のクラチ tehsil で、治安部隊と警察が IBO を遂行し、TTP のシーリーン・グループの副司令官を含むテロリスト2名を殺害したほか、武器と弾薬及び手榴弾を回収した。

○ 17日、パンジャーブ州 CTD は、同州グジュランワーラー郡アイマナバードで IBO を遂行し、テロリスト1名を殺害したほか、爆発物、起爆装置、その他の武器を回収した。

○ 18日夜、KP 州バジョール部族郡で、治安部隊とアフガニスタンから国境を越えてパキスタンに侵入しようとした武装勢力との間で銃撃戦があり、治安部隊3名が殉職、武装勢力5名が死亡、4名が負傷した。

○ 19日、KP 州デラ・イスマイル・カーン郡クラチ tehsil のカリ・マラング地区で遂行された作戦で、治安部隊は武装勢力4名を殺害したほか、殺害した武装勢力の所持品から大量の高性能武器と手榴弾を回収した。

○ 19日、バロチスタン州ノシュキ郡のアフ・パク国境に接するガズナリ地区で、アフガニスタン軍との銃撃戦が発生し、これにより FC 隊員1名が殉職した。FC 隊員幹部によれば、武装勢力の侵入及びアフガン人の不法入国を阻止するためにパキスタンが設置したフェンスが破壊されたとの報告を受け、ガズナリ検問所に向かった FC 隊員にアフガニスタン軍が発砲した。

○ 19日、KP 州クラーム部族郡パラ・チャムカニ地区で、掩蔽壕の建設をめぐる2つの部族の間で銃撃戦が発生し、2名が死亡、2名が負傷した。

また、先週行方不明になっていた男性の遺体が同部族郡中央部の山岳地帯に遺棄されているのが発見されたほか、同部族郡のアフ・パク国境付近で地雷が爆発した（犠牲者はなし）。クラーム部族郡では、最近標的殺人や身代金目的の誘拐事件が増加している。

○ 18～19日、バロチスタン州マストゥング郡で、治安部隊は IBO を遂行し、激しい銃撃戦の後、BLA のテロリスト3名を殺害し、3名を負傷させた。テロリストたちは、12日にザーキル・フサイン・バローチ・パンジュグール郡副郡長 (DC) 暗殺事件のほか、ほかの凶悪なテロ行為にも関与していた。

○ 18日、バロチスタン州ローラライー郡で、バルカット・カーン元アフガニスタン軍司令官が、武装した男性により銃殺された。

○ 20日、KP 州デラ・イスマイル・カーン郡ダラバン tehsil で、警察テロ対策局 (CTD) は、TTP のテロリストから発砲を受け応戦し、ガンダプール・グループの諜報部長を含む TTP のテロリスト3名を殺害したほか、殺害したテロリストの所持品から大量の武器及び弾薬を回収した。

○ 20日、バロチスタン州ノシュキ郡カディラバード地区で、身元不明の者達が仕掛けた IED が FC の車列が通過した際に爆発し、歩行者2名が負傷した。車両

は無事であった。

○ KP 州デラ・イスマイル・カーン郡で、複数の銀行の現金輸送車から強奪した現金の分配をめぐる、TTP のガンダプール・グループとマルワット・グループの間で衝突が発生し、ガンダプール・グループのメンバー 2 名及び司令官を含むマルワット・グループのメンバー 3 名が死亡した。

○ 21 日、KP 州マルダン郡で、武装勢力がタフテ・バヒー警察署を手榴弾で襲撃し、警察官 1 名が負傷した。

○ KP 州バジョール部族郡ロイ・マモンド警察署管内のアップー・ラガレイ地区で、爆発物の信管を解除し、テロ計画を阻止した。

○ 22 日、シンド州との州境付近のパンジャブ州ラヒーム・ヤール・カーン郡マチカ地区で、未開発地域（通称 Katcha）の警察キャンプから戻る途中の警察車両 2 台がダコイトからのロケット攻撃を受け、少なくとも警察官 11 名が殉職、9 名が負傷した。これにより多数の警察官が行方不明になっているとされており、死者数は更に増える可能性がある。

○ 22 日、KP 州バンヌー郡で、ジャンニ・ケル部族の指導者の一人が身元不明の武装集団に銃殺された。

○ 22 日夜、KP 州ラッキー・マルワット郡ラッキー・マルワット市ミチェン・ケル地区で、武装集団 4 名からの発砲を受け、警察官 1 名が殉職、もう一名の警察官は無傷で逃れた。

○ 22 日夜、KP 州コハート郡ラチ tehsil 警察署に、武装勢力が手榴弾を投げつけ、警察署の境界壁が破損したが、人的被害はなかった。

○ 24 日、ランジャル・シンド州内相及びマリヤム・ナワーズ・パンジャブ州首席大臣は、それぞれ、未開発地域（通称 Katcha）で活動する犯罪者に対して断固たる行動を取る旨述べた。

○ 24 日、ロケット攻撃事件以来行方不明となっていた警察官 1 名が生きており、ダコイトに拘束されていることがわかった。ダコイトがソーシャルメディアに投稿したと思われるビデオで、同警察官は、ダコイトは未開発地域に検問所を建設しないよう要求しており、要求が満たされなければ同日午後 5 時に殺害される旨述べ、必要な手配をするよう警察幹部とマリヤム・ナワーズ・パンジャブ州首席大臣に求めた。

○ 25 日、パンジャブ州警察は、ダコイトに人質に取られていた警察官 1 名を救出した旨発表した。一方ダコイト側は、ソーシャルメディアに、ダコイトのメンバー 1 名の釈放と引換えに同警察官を解放した旨主張した。

○ 24 日、パンジャブ州警察は、デラ・ガジ・カーン郡トーンサー・シャリフのワーハワー地区で、手榴弾やその他武器で重武装したオートバイに乗るテロリストからの攻撃を阻止し、2 名を殺害したが、銃撃戦により警察官 2 名が負傷

した。

○ 24日、バロチスタン州ピシン郡警察本部付近のマーケットで、警察官が集まっていた際に爆発物を積んだオートバイが遠隔操作で爆発し、女性1名及び子供2名が死亡、女性2名及び警察官7名を含む少なくとも16名が負傷した。

○ 24日、バロチスタン州ノシュキ郡ミル・アッダー地区で、身元不明の武装集団からの発砲を受け、男性1名が死亡した。BLAが犯行声明を出した。また、同日、同州ケチ郡トゥルバットのアップサル地区で、身元不明の武装集団が男性1名を殺害した。

○ 24日、KP州バンヌー郡バックケル地区で、サイドガイー地区に向かっていた地元ガス会社(SNGPL:Sui Northern Gas Pipelines Limited)の職員3名が、身元不明の武装集団に拉致された。

○ 24日夜、KP州デラ・イスマイル・カーン郡クラチ地区で、迫撃砲弾が住宅に命中し、未成年の女性が負傷した。

○ 25日、KP州クラム部族郡中部のマラガイ・チーナ地区で、武装集団が重火器で警察検問所を襲撃し、警察官1名が殉職、もう1名が負傷した。

○ 25日、バロチスタン州の各地で武装集団による憲兵署や警察署に対する攻撃や、銃や手榴弾による攻撃が発生した。

○ 25日、バロチスタン州憲兵隊が、パンジュゲール郡で作戦を遂行し、容疑者3名を逮捕し、違法な武器を回収した。

○ 25日、シンド州カラチ市ゴリマールで、二つの宗教団体間で武力衝突が発生し、2名が死亡、8名が負傷したほか、バスやリキシャ等の車両数台が放火された。

○ 25～26日、バロチスタン州各地で、BLAに所属する武装勢力数十名が警察署等を襲撃、線路を爆破、車両約30台に放火し、民間人35名及び治安部隊14名を含む少なくとも50名が死亡した。また、治安部隊によって武装勢力21名が殺害された。

○ パンジャーブ州との境界にあるムサケル郡で、武装勢力は、パンジャーブ人労働者を中心に23名を射殺したほか、トラック等の車両35台に放火した。

○ カラート郡で、武装勢力が憲兵署、ホテル2軒及び部族の長老の住宅を襲撃したほか、国道の料金所に放火した。銃撃戦により、憲兵隊4名と警察官1名を含む11名が死亡した。

○ カッチ郡コルプール地区では、武装勢力により射殺されたとみられる6名の遺体が発見された。

○ 武装勢力は、シンド州カラチ市とバロチスタン州グワダルを結ぶ重要な沿岸高速道路に加え、マストゥング郡、カラート郡、ラズベラ郡ベラ、ケチ郡トゥルバット及びパンジュゲール郡のいくつかの高速道路を封鎖した。また、武装勢

力は、カッチ郡コルプール付近の鉄道橋を爆破しクエッタ市を他地域から遮断させたほか、マストゥング郡付近でも別の線路を爆破し、イランとの鉄道連絡を遮断した。

○ 27日、当局は、ナシラバード郡で銃殺された3名の遺体を発見した。また、法執行機関は、マストゥング郡カドコチャでクエッターカラチ間の国道を封鎖する試みを阻止した。

○ 26日、KP州北ワジリスタン部族郡ラズマク地区で、現在は政府に投降している元武装勢力司令官を狙った自爆攻撃が発生し、4名が死亡、15名が負傷したが、元司令官は無事であった。

○ 26日、KP州デラ・イスマイル・カーン郡ダラバン・カラーン地区のカリ・バクティアール・モールで、身元不明の武装した男が、国民民主運動（NDM）の活動家を射殺した。

○ 26日夕方、パンジャーブ州ミアンワリ郡カラバークで、イスラム教シーア派の宗教行事アルバイーンの行進ルートをめぐり宗派間の衝突が発生し、少なくとも2名が死亡、30名以上が負傷した。

○ 27日、ISPRは、今月20日以降治安部隊が遂行している、KP州ハイバル部族郡ティラー渓谷での、TTP、ラシュカレ・イスラム（LI）及びジャマートウル・アハラール（JuA）を標的としたIBOで、少なくとも武装勢力25名を殺害し、兵士4名が殉職した旨発表した。

○ 28日、KP州デラ・イスマイル・カーン郡クラチ Tehsil のモハッラー・カダル・ケルのモスクで、父親の死を悼みに来た人々を迎えていた陸軍将校1名とその兄弟2名（それぞれカントメント委員会と国家データベース登録局（NADRA）に勤務）が武装勢力とみられる者達に誘拐された。

○ 28日未明、KP州北ワジリスタン部族郡シェワ tehsil のシャヒーダン村で、武装勢力によって仕掛けられた爆発物が爆発し、建設中の病院の一部が破損したが、死者は報告されていない。

○ 28～29日にかけての深夜、KP州スワート郡ミンゴラで、身元不明のオートバイ乗りが検問所を手榴弾で攻撃し、警察官が殉職、警察官1名が負傷した。

○ 29日、KP州南ワジリスタン部族郡マキーンで誘拐された男性の遺体が発見された。同男性は、スパイ行為を行ったとしてTTPにより殺害された。

○ 30日、KP州及びバロチスタン州で遂行されたIBOでの銃撃戦で、少なくともテロリスト17名が死亡した。

○ 31日、KP州南ワジリスタン部族郡北部ティアラザ Tehsil のショラム/トゥールワム地区で、武装勢力からの攻撃を受けた治安部隊が応戦し、武装勢力3名を殺害した。治安要員4名が負傷した。

○ KP州北ワジリスタン部族郡ミラムシャー地区で、ロケット弾がヘリポート

に着弾し、治安要員 2 名が負傷した。

○ 8 月 20 日以来、KP 州ハイバル部族郡のティラー渓谷で遂行されてきた、アフガニスタンから侵入してきた武装勢力に対する IBO により、これまでにテロリストの少なくとも 37 名が死亡し、14 名が負傷した。

9 月分

○ 4 日、KP 州ラッキー・マルワット郡ナウエルケル地区で、武装したオートバイ乗り達からの発砲を受け、通勤中の警察官 1 名が殉職した。

○ 4 日、KP 州バンヌー郡で、身元不明の武装集団が、石油タンクローリー 2 台に放火したほか、更にタンクローリー 2 台を奪取し、運転手を誘拐した。

○ KP 州オラクザイ部族郡のシーア派モスクで、追悼行進後に集会が行われていたところ、テロリスト 1 名が発砲し、3 名が負傷した。警察と地元住民は AK-47 を持ったテロリストを追跡し逮捕した。

○ 6 日、KP 州モフマンド郡ガーラナイのモフマンド連隊 (FC) を 4 名の武装勢力が襲撃し、2 名が自爆テロで即死、1 名が FC と警察の反撃で殺害されたが、1 名は逃亡した。

○ 6 日、バロチスタン警察 CTD は、バロチスタン州ピシン郡の Surkhab 難民キャンプにおける作戦で、警察官の殺害事件に関与した容疑があるテロリスト 5 名を射殺した旨発表した。

○ 6 日、KP 州ラッキー・マルワット郡 Aalamai Kallay 地区 Naurang における IBO で、複数の攻撃に関与した容疑があるテロ組織の司令官 1 名を殺害した。

○ 7 日、KP 州ラッキー・マルワット郡で、休暇中に故郷の村に戻った警察官が何者かに射殺された。また、KP 州バジョール郡マームンド Tehsil で、正体不明の武装集団から発砲を受け、警察官が負傷した。

○ 6 日から 7 日の夜に、バロチスタン州カラット郡で治安部隊が IBO を展開し、テロリスト 2 名を殺害し、武器、弾薬、爆発物を押収した。

○ 7 日、KP 州ローワー南ワジリスタン郡で正体不明のテロ組織によりスパイ行為を疑われた男性が射殺された。

○ パンジャーブ州警察 CTD は、州内で 475 件の IBO を展開し、Sipah-e-Sahaba Pakistan、ラシュカレ・ジャンヴィ (Lashkar-e-Jhangvi)、133 Brigade、Tehreek-e-Jafaria Pakistan 及びアルカイダとつながりのあるテロリスト 33 名を逮捕し、武器や爆発物等の危険物を押収し、テロ攻撃を未然に防いだと発表した。

○ 9 日、KP 州南ワジリスタン郡ワナで警察車両を狙った IED による爆発により、警察官 6 名と民間人 7 名が負傷した。

○ 10 日、バロチスタン州警察副長官は、反テロ法 4 条に基づき指定された 137 名の氏名を記載したリストを発表した。その内、134 名は BLA、3 名は TTP とのつながりがそれぞれ疑われている。

- 10日、バロチスタン州ノシュキ郡で、JUI-Fの地元指導者が武装した不審者により射殺され、同指導者の護衛が負傷した。警察によると、同事件についての犯行声明は出ていない。
- 7日から9日にかけて、KP州クーラム郡Palosin地区の検問所をアフガニスタン・タリバーン軍が国境を越えて攻撃し、パキスタン側からの反撃により、アフガニスタン側で、タリバーン兵16名が殺害され、27名が負傷し、戦車2輦が破壊された。
- 11日、KP州バジョール郡及び南ワジリスタン郡で発生した3つの銃撃事件により、警備員3名、ポリオ予防接種チームの職員1名、地元の労働者2名が死亡し、12名が負傷した。
- 11日、バロチスタン州ケチ郡のTurbat Townにある中央市場で、バイクに乗った不審者が手榴弾を投げ込み5名が負傷した。
- 12日、バンヌー警察署員が警察官のポリオ撲滅キャンペーンへの警護派遣に対する抗議活動が続ける中、KP州バンヌー郡とコハート郡を結ぶ道路沿いにあるMinal Pump 難民キャンプ近くのドメル (Domail) において、ポリオ予防接種チームを護衛する警察官1名が何者かにより射殺された。
- 13日、バロチスタン州マストゥング郡ダリンガル (Daringarh) の憲兵隊 (Levies) 駐屯地付近で部族民のグループが発砲し、憲兵隊2名が死亡、他3名が負傷した。
- 13日、パンジャブ州警察CTDは、同州デラ・ガジ・カーン地区のサキ・サルワル警察署管轄区域でIBOを実施し、その結果テロ計画が阻止され、容疑者2名が死亡したと発表した。
- 13日、KP州ラッキー・マルワット郡の刑務所職員が、自宅前で複数のテロリストにより銃撃され死亡した。
- 14日、バロチスタン州のクエッタ近郊のクチュラク (Kuchlak) 地域において、クエッタ～チャマン高速道路沿いに仕掛けられたIEDの爆発によりバトロール中の警察官2名が死亡した。
- 14日、パンジャブ州警察CTDは、同州内の各地で71件のIBOを実施し、69名の容疑者を尋問して9名のテロリストを逮捕したと発表した。
- 18日、パンジャブ州警察CTDは同州ナンカナ・サーヒブ (Nankana Sahib) 郡でIBOを実施し、銃撃戦の後テロリスト3名が死亡、2名が逃亡した。
- 19日、バロチスタン州クエッタのサリアブ地区の税関近くで正体不明の武装勢力による銃撃事件が発生し、治安部隊1名が死亡した。
- 19日、KP州警察CTDの報告書によると、KP州では今年234名の警察官や治安部隊員等が殉職し、さらに反政府勢力により616名が負傷した。
- 19日及び20日、KP州北ワジリスタン郡及び南ワジリスタン郡で、治安部

隊とテロリストの間で激しい交戦が発生した。北ワジリスタン郡スピナム地区で、治安部隊は、アフガニスタンから侵入を試みたテロリスト7名を銃撃戦で殺害した。南ワジリスタン郡ラダ地区で、武装勢力が治安部隊の検問所を攻撃し、銃撃戦により武装勢力の戦闘員5名が死亡し、治安要員6名が殉職した。

○ 20日、KP州バンヌー郡シャーデーヴ・カース地区で、オートバイに乗った襲撃者からの発砲を受け、内閣情報局（IB）職員1名が殉職、その兄弟が負傷した。

○ 19日、KP州北ワジリスタン郡グラム・カーン国境で、アフガニスタン軍によるものと見られる越境砲撃により、治安要員1名が殉職、2名が負傷した。

○ 19日にシンド州ミールプールカース郡で冒涇罪の容疑を受けていた医師が警察官により銃殺された事件を受け、翌20日、同州警察長官（IGP）は、調査を命じるとともに、同郡警視正（SSP）を解任した。

○ 21日夜、バロチスタン州ジョーブ郡とKP州デラ・イスマイル・カーン郡を結ぶ高速道路で、マニ・カワに向かっていたバロチスタン州のテロ対策部隊（ATF）の車両に対して身元不明の襲撃者が発砲し、ATF隊員3名が殉職、3名が負傷した。

○ 19日、KP州ローワー南ワジリスタン郡ビルマール Tehsil のナンドロン地区で、治安部隊と武装勢力との間で衝突が発生し、治安要員1名が殉職、1名が負傷したほか、テロリスト1名が死亡した。

○ KP州アッパー南ワジリスタン郡サイダーン村の山岳地帯で、12歳の少年が地雷の爆発で負傷したほか、20日、南ワジリスタン郡マキン Tehsil のスピン・カマル地区でも子ども6名が地雷の爆発で負傷した。

○ 20日夜、KP州アッパー南ワジリスタン郡ラダ tehsil のボスパ地区で、治安部隊と武装勢力の間での交戦があった際に、迫撃砲弾が民家へ直撃し、男性とその息子が負傷した。

○ 21日、CTDは、パンジャーブ州で65件のIBOを遂行し、テロ組織とのつながりが疑われる容疑者5名を逮捕した旨明らかにした。

○ KP州南ワジリスタン郡で、身元不明のテロリストにより通勤中の警察官1名が銃殺された。

○ 22日、KP州スワート郡で、IEDが爆発し、12か国の外交団を乗せた車列を先導していた警察車両に命中し、警察官1名が殉職、複数名が負傷した。外交団は無傷だった。

○ 22日、バロチスタン州カーラーン郡カーラーン町で、身元不明のオートバイ乗り達がFCを乗せた車両に向けて手榴弾を投げつけたが、標的を外し、通行人7名が負傷した。FC隊員は無傷であった。

○ 22日深夜、KP州ペシャワール市シャムシャトゥーで、テロリストにより警

察検問所が襲撃されたが、警察側が撃退した。過去数週間で、同州各地での警察署及び検問所に対する攻撃が増加しており、ペシャワール市でもここ数日で警察検問所への攻撃が3件発生した。

○ 24日、KP州アッパー南ワジリスタン郡サラロガ Tehsil のコンライ・ラグザイ地区で、ドローン攻撃により1名が死亡、3名が負傷した。しかし、ドローン攻撃について公式発表はない。

○ 24日夜、KP州スワート郡マッタ Tehsil のアシャレイ地区で、武装勢力5名が巡回中の警察部隊に発砲し、警察官2名が負傷したが、警察からの応酬により、武装勢力2名が死亡した。また、同日夜、同州ラッキー・マルワット郡トール・ラワングケル地区で遂行されたIBOで武装勢力1名が死亡した。

○ 24日夜、KP州ラッキー・マルワット郡トール・ラワングケル地区で、地元警察及びCTD部隊によるIBOが遂行され、TTPの司令官が死亡した。また、同日、同郡シェイク・クラ地区で遂行された秘密作戦で、TTPのティーパー・グル・グループの司令官1名が死亡した。

同日朝、同州北ワジリスタン郡ミラリ・バザール周辺で遂行された作戦で、武装勢力数名が死亡、治安要員4名が負傷した。

同日、同州デラ・イスマイル・カーン郡コート・ドウラット地区のクラチとハターラーを結ぶ道路で、警察官の車両付近でIEDが爆発したが、警察官は無事であった。

○ 25日、バロチスタン州クエッタ市イースタン・バイパスのボサ・マンディ地区で、警察車両が到着した際に身元不明の者達が駐車した爆弾物を積載したオートバイが爆発し、少なくとも警察官2名を含む12名が負傷した。

○ バロチスタン州シッピー郡アラハバード地区で、身元不明のオートバイ乗り達が、同郡灌漑局職員の住宅に手榴弾を投げ込む、15歳の少年が死亡、3名が負傷した。

○ KP州デラ・イスマイル・カーン郡のグル・イマーム警察署管内で、ポリオ撲滅チームが襲撃されたが、ポリオ・チーム及び警察官達は無傷であった。

○ 26日夜、KP州ラッキー・マルワット郡ワンダ・アミール地区で、身元不明の者達により、パンジャーブ州に天然ガスを供給する主要パイプラインが爆破されたが、犠牲者は出なかった。

○ 27日、KP州バジョール郡カルのデリー村の路上で、身元不明の武装集団によって、警察官1名が銃殺され、ほか2名が負傷した。

○ 26日夜、KP州スワビ郡で、爆発によりスワビ市警察署の建物が崩壊し、2名が死亡、警察官17名を含む26名が負傷した。本事件を調査するために合同調査チーム(JIT)が結成された。

○ 26日、ガンダプール KP州首席大臣が、20日にKP州クラーム郡で発生した

土地問題と掩蔽壕の建設をめぐる部族間の衝突（当館注：宗派間抗争との見方もある）の停戦を発表するも、一部地域を除き停戦は実現せず、28日、死者は48名、負傷者は115名に増加した。

○ 28日深夜、バロチスタン州パンジュグール郡クダ・イ・アバダン地区で、自動小銃で武装したテロリスト達が建設中の建物に押し入り、パンジャープ州ムルターン出身の労働者7名を殺害し、1名を負傷させた。

○ 28日、KP州バジョール郡で、イナヤット・カレイーバイ・チーナ・ロードを走行していた警察車両が路肩爆弾の攻撃を受け、警察官9名が負傷した。

○ 28日、バロチスタン州クエッタ市キラニ・ロードのキリ・ジオ地区で、バロチスタン民族党メンガル派（BPN-M）の幹部であるアーガ・ハーリド・シャーが、オートバイに乗った身元不明の襲撃者達により銃殺され、その親族1名も重傷を負った。

○ 28日、KP州アッパー南ワジリスタン郡のマキーン・バザールで、メスード部族と諸政党は、治安部隊による人口密集地域での砲撃と発砲により騒乱が生じ、家畜が失われていることに抗議して、2日連続で座込みを続けた。

○ 28～29日深夜、バロチスタン州ムサケル郡ダルグ Tehsil のセワ・ラーク地区で、自動小銃を持った12名以上のテロリスト達が民間建設会社が労働者のために設置した野営地に押し入り、ブルドーザー7台を含む機械や車両に放火した。

○ 28日夜、KP州バジョール郡セラザイ Tehsil のタンギ地区で、警察検問所が身元不明の襲撃者達による攻撃を受けたが、効果的に阻止し、犠牲者は出なかった。同郡では、過去1週間で警察検問所に対する同様の攻撃相次ぎ、今回で4回目の攻撃となる。

○ 29日、KP州アッパー南ワジリスタン郡ラダ Tehsil のディレイ地区で、身元不明の者達によって仕掛けられたIEDが爆発し、FC隊員1名が負傷した。

○ KP州ペシャワール市のファキーラバードで、オートバイ乗り達からの発砲を受け、警察官1名と、通行人の夫婦が負傷した。警察からの応酬により襲撃犯1名が死亡した。

（以上）